

## 【62用語】

中産（ちゅうさん）…中位の大きさの財産、またその所有者

標記（ひょうき）…目印として記すこと、またその文字、標号

趨勢（すうせい）…物事の進み向かう様子、動向、なりゆき

幾分（いくぶん）…いくらか、どれほどか

時価（じか）…そのときの相場、一定時の市価

昂騰（こうとう）…物価などが高く上がること

比年（としごろ）…年頃、年比、こここのところ、数年の間

恒産（こうさん）…定まった財産、一定の生業

尠少（せんしょう）…極めて少ないこと、わずかなこと

左程（さほど）…然程、それほど、さばかり

## 【62解説】

大正三年（一九一四）八月の日本の第一次世界大戦への参加は、その後の国内経済に好景気（大戦景気）をもたらしことになったが、一方、大戦の影響で米の輸入量が減少し、物価の高騰を招き、社会不安を増大させることになった。こうした状況の中で、地主・商人らは米の買い占めや売り惜しみを払い、庶民の生活をいつそう苦しめることになった。

本文書は、物価高騰という経済状況下で、国が県に命じて行った、中産階級以下の人々の生活実態に関する照会に対し、前橋市の木村二郎市長から県の内務部地方課へ提出した回答書である。ちなみに、本簿冊には前橋市のほか、勢多郡・群馬郡などの各郡役所及び高崎市からの回答書もいっしょに綴られており、調査項目は地主、地主兼小作者、小作者、林業者、水産業者、商業者、工業者、労働者、その他に区分し記載されている。